

### 1 石狩中学校 ESD の特徴

本校は、広い意味での「環境」を活動テーマとして、ユネスコスクールが重点的に取り組む3つの分野を通して「持続可能な社会づくりに関わる課題を見だし、それらを解決するために必要な能力や態度を身に付けることを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う」ことを目標に学習活動に取り組んでいる。

また、留意点として、①現代的課題を「地球規模」・「地域」の両視点から捉える。②自己の生き方、あり方とより良い社会の構築を関連づけて考える。③持続可能な社会の構築に向けて自己のできることに加え、社会参加・参画の必要性を理解し、行動に移そうとする。以上の3点を共通のおさえとしている。

### 2 活動事例

<p><b>1年生の実践「地域の課題と未来」</b></p> <p><b>石狩探訪（石狩湾新港、石狩の歴史文化）</b></p>  <p>石狩湾新港の企業の訪問見学、その地歴史や文化に関わる調査から、良さと課題よりよい未来を考える</p> <p><b>石狩海岸の環境学習（海浜植物、ゴミの実態）</b></p>  <p>石狩海岸の海浜植物や環境問題を学ぶ 海岸のごみ調査やハマナスの苗植え、環境保全の提案</p>	<p><b>2年生の実践「循環型社会と省エネ」</b></p> <p><b>（エネルギー・ゴミ問題、地球温暖化）</b></p>  <p>持続可能な社会に向かうための条件の1つとしての循環型社会。地球資源には限りがあり、エネルギー問題やゴミ問題が社会問題になっている。 石狩市の現状やその他の地域や国について調査を進め、さらに札幌市の取り組みについて学習し、比較しながら石狩市のよりよい循環型社会のあり方について考え行動できるようにする。</p>	<p><b>3年生の実践「共生社会と防災」</b></p>   <p>災害に強い持続可能な地域の構築のためには「防災」・「減災」・「自助」・「共助」が重要。本校の災害講座や防災訓練では体験を通して、安心・安全でよりよい共生社会の在り方について考え行動できるようにする。</p>
<p><b>全学年の実践「手話講座」</b></p>   <p>地域社会の一員として、地域の福祉（聴覚障がい）について理解し、互いの豊かな生活環境を実現する資質を育てる。また「石狩市手話基本条例」について理解する。</p>	<p><b>生徒会中心の実践「人権・平和・異文化理解」</b></p>  <p>①「アンネのバラ」の育成を通じて 平和や人権（差別・いじめ）、共生や異文化理解について理解を深める。</p> <p>②ペットボトルキャップ回収・書き損じハガキ回収・古紙の回収を通じて 開発途上国の貧困や医療を受けられない子どもに対する理解を深め、支援の気持ちを育成する。</p> <p>③いじめ撲滅集会 石狩八幡小、生振小との児童会と連携して活動。「いじめを絶対に許さない」という強いメッセージを対話を通じた活動から発信する。</p> 	

### 3 成果と課題

今年度は、いじめ撲滅集会と地域防災訓練に加え、開発途上国の貧困対策や子ども命を救うワクチン支援の為の「ペットボトルキャップ回収」についても中学校校区の石狩八幡小学校と連携したボランティア活動として実施した。少しずつであるが「ユネスコスクール」としての活動を中学校校区の小中連携教育として普及させることができている。その成果として、地域一体としてのユネスコスクールの取組になりつつある。

また、既にユネスコスクールに登録されている生振小とも小中連携教育を進めているが、ユネスコスクールの取組についても、同様に連携が図られるとより効果的であると感じる。

# 4 活動全体計画

## 令和5年度 ユネスコスクール 総合的な学習の時間 全体計画案 石狩市立石狩中学校

2023.06.14 道特総務

### ESD「持続可能な開発のための教育」の推進

私たちとその子孫たちが、この地球で生きていくことを困難にするような問題について考え、立ち向かい、解決するための学び。(2005年～2014年での実施を国連総会にて決議)  
(ESD:Education for Sustainable Development)

ESDの基本的な考え方  
〔知識、価値観、行動等〕  
環境、経済、社会の統合的な発展

\* 6つの概念  
多様性、相互性、有限性、公平性、連携性、責任制

### ユネスコスクールの目標

- 1.地球規模の諸問題に対処できるように新しい教育内容や手法の開発・発展をめざす。
- 2.「持続可能な開発のための教育(E S D)」を推進する。


### 学校教育目標

「人間として美しいものを美しく感じることでできるような人間を育てるために」

- ◎心身共に健康でよく考える生徒
- ◎互いに認め合い協力し合う生徒
- ◎自ら進んで実行し最後までやり抜く生徒

### SDGs「持続可能な開発目標」の推進

持続可能な世界を実現するために、17の目標と169のターゲットから構成された目標。(2015年～2030年の実施を国連総会にて決議)



### ESDで育みたい力

- ・多面的・総合的に考える力
- ・批判的に考える力(代替案)
- ・未来を予測して計画を立てる力
- ・コミュニケーションを行う力
- ・つながりを尊重する態度
- ・他者と協力する態度

### 育成を目指す資質能力

学校目標	心身ともに健康でよく考える (主体的探究的学力)	互いに認め合い協力し合う (協力的実践力)	自ら進んで実行し 最後までやりぬく (倫理的行動力)
知識・技能	自分自身と健康面を気づき、得意なことや好きなことに熱中に取り組み、伸ばそうとする	色々な考えを持つ人と交流しながら、自分の考えを深めることができる	生きて働く知識や技能を身につけている
思考力・表現力・判断力	相手に自分の考えを伝え、共有するために量りに表現できる	他者の立場になり、考えや思いを想像し、適切な行動ができる	学んだことを生かして正しく判断し、適する課題にあきらめずに取り組むことができる
学びに向かう力・人間性	自分の夢や目標達成に向け、自信と意欲をもち、学びの活動を続けることができる	人々と仲良く協力し合い、平和で調和のとれた社会を創ろうとする	何事にもより良い目標を設定し、最後までやり抜けることができる

### 総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す

**育てたい資質・能力及び態度**

- 1.知識・技能**  
探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- 2.思考・判断・表現**  
実社会や実生活の中から問いを見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することを目指す
- 3.主体的に学習に取り組む態度**  
探究的な学習に主体的・協力的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に

### 総合的な学習の時間の目標

- 1.地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 2.人権、民主主義の理解と促進
- 3.異文化理解
- 4.環境教育

### 石狩中のユネスコスクールとしてめざす生徒像

◎「持続可能な社会づくりに関わる課題を見だし、それらを解決するために必要な能力や態度を身に付ける」ことを通して、持続可能な社会の形成者としてふさわしい資質や価値観を養う。

\*持続可能な社会とは；循環型社会・低炭素社会・自然共生社会

「総合的な学習の時間」各学年の内容

### 全学年共通テーマ「環境」

		1年テーマ 「地域の課題と未来」	2年テーマ 「循環型社会と省エネ」	3年テーマ 「共生社会と防災」
学習内容	地域学習1	「地域の自然環境」	地域学習	「共生社会と防災」
	地域学習2	「石狩探訪」(校外学習)	キャリア学習	「進路設計：生き方を考える」
ねらい	地域学習	地域社会の一員として、諸事象を多角的に捉える力を育む	地域学習	地域社会の一員として、持続可能な地域を構築しようとする力を育む
	キャリア学習		職業体験学習を通じて、自己理解を深め、将来を展望する力を育む	キャリア学習
活動内容・探求型	オリエンテーション 1 <b>全50</b>		オリエンテーション 1 <b>全70</b>	
	1. 「石狩海岸の環境学習」 16 ・石狩海岸の海浜植物や環境問題について、ゴミの実態調査やハマナスの苗植えの体験を通して学習する。(石狩探訪) ・災害講座、地域合同の防災訓練を実施する。		1. 「循環型社会と省エネ」 18 ・持続可能な社会に向かうための課題について、循環型社会を視点にエネルギーや資源・ゴミについて学習する。(調べ学習) ・札幌市の施設などを訪問見学し、省エネ、環境へのとりくみなどについて学習する。(札幌市自主研修)	
	2. 「石狩の産業学習」 13 石狩湾新港、砂丘の丘資料館の他、歴史文化に関わる施設などを見学する。(石狩探訪)		2. 「まとめ・発表」 18 ・札幌市と石狩市を比較しながら良い点や課題をまとめ、石狩市のよりよい循環型社会のあり方について提案し、発表する。(まとめ学習・文化発表)	
	3. 「まとめ・発表」 18 ・石狩の環境保全のためのアイデアを提案する。 ・地域を多角的に捉えながら課題を見つけ、よりよい地域の未来についてのアイデアを提案する。 ・以上の内容をまとめ、発表する(まとめ学習・文化発表)		3. 石狩市と他の地域の比較 13 (修学旅行にむけて)	
キャリア学習 ※キャリア学習は全て学活を要として実施		3. キャリア学習 13 「職業体験学習：将来を展望する」 ※職業体験以外は全て学活を要として実施		
まとめ・振り返り 1		まとめ・振り返り 1		

\*評価規準・評価の観点は別紙

◎各教科、道徳、特活、学校行事、地域、NPO各種団体、自治体との関連を図る

◎生徒会：「平和・人権・異文化理解」のとりくみ、「アンネのバラ」育成など(文化部)